

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	市内15小学校の普通教室等に空調設備を設置することで、児童の安全と教育環境の向上を図る。			主たる内容	大規模改造や改築事業が実施されない校舎にある、普通教室343室、特別教室82室に空調設備を設置する。 ※大規模改造や改築事業を行う校舎は、当該工事に合わせて設置。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学校の児童及び教員		事業期間	平成27年度～平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・空調設備設計・調査		_____		・空調設備設置工事		_____		
成果		学校と調整しながら、空調設備の設計・工事を行うことができた。								
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	100.0	—	—	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		14,035	0	1,148,926	0	合計 1,148,926,356 円			
	財源	特定財源	14,035	0	1,148,926	0	工事請負費 1,148,926,356 円			
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		391	0	0	0				
	総事業費（①+②）		14,426	0	1,148,926	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費			0	学校施設環境改善交付金(国) 空調設備事業債 繰越金				
2年度以降の事業費見込			0							

会計名			空調設備整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	教室に天井扇風機が設置されているが、昨今の温暖化の影響により、扇風機のみでは暑さを十分に和らげることが困難な日がある。空調設備を設置することにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	一斉に空調設備を設置することにより、適正な能力の室外機を効率的に配置できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設における設備の整備であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく小学校の空調設備設置工事を行うことができた。空調設備設置には費用がかかる反面、暑さ対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成30年度に空調設備設置工事を完了した。					

会計名			小高原小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和35年に建設された北舎東棟、昭和53年に建設された北舎西棟及び昭和54年に建設された南舎の内外装、設備を一斉に改修する。 ○北舎東棟 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 1,167㎡ ○北舎西棟 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 2,626㎡ ○南舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 3,137㎡				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	小高原小学校の児童及び教員	事業期間	平成28年度～平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・国の2次補正予算成立に伴う国庫補助金の会計年度に合わせるため、平成28年度に大規模改造事業を前倒しした。		・北舎大規模改造工事		・南舎大規模改造工事		—	
成果		学校と調整を進めながら北舎と南舎の大規模改造工事を進めることができた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		改修工事進捗率（％）		—	50.0	100.0	—		
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	288,309	364,921	0	合計	364,921,200 円	
	財源	特定財源	0	288,309	314,866	0	工事請負費	364,921,200 円	
		一般財源	0	0	50,055	0			
	職員人件費 ②		0	1,551	2,160	0			
	総事業費（①+②）		0	289,860	367,081	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		木の香る学校づくり推進事業交付金（県）					
2年度以降の事業費見込		0		小学校大規模改造事業債					

会計名			小高原小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後40年が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持するだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即効力に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく小高原小学校の大規模改造工事を行うことができた。大規模改造1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	平成29年度に北舎の大規模改造工事、平成30年度に南舎の大規模改造工事が完了した。				

会計名			富士松中学校大規模改造事業				担当部	教育部
一般会計							担当課	教育総務課
款	項	目					担当係	施設係
10	3	1						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	学校教育					
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実					
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和38年に建設された南舎の内外装を一斉に改修し、昭和55年に建設された北舎の内外装を一斉に改修するための設計を行う。 ○南舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 1,938㎡ ○北舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 2,786㎡			
	位置づけ	関連計画						
	根拠法令							
	対象者	富士松中学校の生徒及び教員		事業期間	平成26年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		・中舎大規模改造工事（内外装） ・南舎大規模改造工事設計		_____		・南舎大規模改造工事 ・北舎大規模改造工事設計		_____
成果		設備等に不具合を起こしていた南舎の機能面を回復することができた。						
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		南舎改修工事進捗率（％）		—	—	100.0	—	—
活動指標	北舎設計進捗率（％）		—	—	100.0	—	—	
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		165,146	0	248,847	0	合計 248,847,120 円	
	財源	特定財源	0	0	240,877	0	委託料 7,970,400 円	
		一般財源	165,146	0	7,970	0	工事請負費 240,876,720 円	
	職員人件費 ②		1,719	0	1,157	0		
	総事業費（①+②）		166,865	0	250,004	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金(国) 富士松中学校大規模改造事業債 繰越金				
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			富士松中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後50年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく富士松中学校南舎の大規模改造工事及び北舎の大規模改造工事の設計を行うことができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	平成30年度に南舎の大規模改造工事が完了するとともに北舎の大規模改造工事の設計を行った。令和2年度から令和3年度にかけて北舎の大規模改造工事を行う。				

会計名 一般会計			双葉小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。			主たる内容	昭和40年に建設された南舎の内外装、設備を一斉に改修する。 ○南舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積 2,528㎡			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	双葉小学校の児童及び教員			事業期間	平成26年度～平成31年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・南舎大規模改造工事（内装・外装）		・南舎大規模改造工事（内装）	
成果		学校と調整を進めながら南舎の大規模改造工事を進めることができた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	改修工事進捗率（％）			—	—	60.0	100.0	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	304,692	59,493	合計	304,691,943円	
	財源	特定財源	0	0	303,828	29,000	委託料	864,000円	
		一般財源	0	0	864	30,493	工事請負費	303,827,943円	
	職員人件費②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	304,692	59,493			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費			0	学校施設環境改善交付金（国）					
2年度以降の事業費見込			0	双葉小学校大規模改造事業債繰越金					

会計名			双葉小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後50年が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく双葉小学校の南舎大規模改造工事を行うことができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成27年度で南舎の設計が完了し、平成30～31年度に大規模改造工事を行う。					

会計名 一般会計			委員研修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	1	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	教育行政・教育問題についての研修を通し教育委員の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。	主たる内容	○教育委員会委員研修旅費等					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	教育委員及び教育長	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		委員研修を行った。 (10/6 刈谷市民休暇村視察)		委員研修を行った。 (11/8 豊橋市立くすのき特別支援学校視察)		委員研修を行った。 (7/25 安城市図書館視察)		委員研修を行う。	
成果		教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員の資質向上を図った。							
課題		教育委員視察は有意義な事業として教育委員の資質向上、教育委員会の活性化に役立っているが、限定旅費となっているので金額により視察先が限定され、視察の計画を立てるに当たり苦慮している。例えば、教年に1回というような頻度であっても、視察先旅費相当分の予算が確保できれば、より有効的な委員研修の実施が可能となる。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	30年度 事業費内訳		
	事業費 ①		4	52	1	349	合計	1,250 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	1,250 円	
		一般財源	4	52	1	349			
	職員人件費 ②		313	892	887	0			
	総事業費 (①+②)		317	944	888	349			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより児童の読書指導に役立てる。また、図書システムの運用・管理を行い、児童の読書指導に役立てる。				主たる内容	○図書の購入費 ○図書システムの保守管理委託料 ○図書システム機器の賃借料 ○書架等備品の購入費		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(6,650冊)また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(5,926冊)また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(6,052冊)また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。また、図書システムの管理を行う。			
成果		学校図書館図書標準の水準確保及び教育環境の向上を図ることができた。							
課題		「学校図書館図書標準」は全15校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		16,465	15,876	15,513	21,500	合計	15,513,458 円	
	財源	特定財源	2,005	2,400	1,000	0	需用費	9,344,183 円	
		一般財源	14,460	13,476	14,513	21,500	役務費	1,178,064 円	
	職員人件費 ②		391	426	502	0	委託料	2,408,400 円	
	総事業費（①+②）		16,856	16,302	16,015	21,500	使用料及び賃借料	1,603,035 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		寄附金			
2年度以降の事業費見込		0							
備品購入費				979,776 円					

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	2					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	授業等で使う教材を購入し、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。			主たる内容	○児童用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全小学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入する。	
成果		児童用一般教材の購入を円滑に進めることで、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図ることができた。							
課題		教育活動の充実を図ることを目的としているが、必要、必要でない教材をしっかりと精査し購入する必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
	他市との比較検証								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		56,412	56,909	55,019	56,069	合計	55,018,765 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	43,756,816 円	
		一般財源	56,412	56,909	55,019	56,069	備品購入費	11,261,949 円	
	職員人件費 ②		1,094	582	579	0			
	総事業費（①+②）		57,506	57,491	55,598	56,069			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		図書充実事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより生徒の読書指導に役立てる。			主たる内容	○図書の購入費 ○書架等備品の購入費			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
図書の購入、入れ替えを行った。(4,781冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(5,972冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(5,590冊)		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。			
成果		学校図書館図書標準の水準確保及び教育環境の向上を図ることができた。							
課題		「学校図書館図書標準」は全6校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	30年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,976	9,181	9,442	10,000	合計	9,442,355 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	8,978,711 円	
		一般財源	9,976	9,181	9,442	10,000	備品購入費	463,644 円	
	職員人件費 ②		391	426	656	0			
	総事業費 (①+②)		10,367	9,607	10,098	10,000			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	2					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	授業等で使う教材を購入し、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。			主たる内容	○生徒用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全中学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入する。	
成果		生徒用一般教材の購入を円滑に進めることで、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図ることができた。							
課題		教育活動の充実を図ることを目的としているが、必要、必要でない教材をしっかりと精査し購入する必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		55,140	55,874	50,114	52,893	合計	50,113,688 円	
	財源	特定財源	0	1,000	0	0	需用費	37,678,169 円	
		一般財源	55,140	54,874	50,114	52,893	備品購入費	12,435,519 円	
	職員人件費 ②		860	574	571	0			
	総事業費（①+②）		56,000	56,448	50,685	52,893			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			図書充実事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	4	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を継続的に整備していくことにより、児童・生徒の読書指導に役立てる。				主たる内容	○図書の購入費		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者					事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
				図書の購入を継続的に行った。(55冊)		図書の購入を継続的に行う。			
成果		特別支援教育用の図書を整備することで、教育環境の向上を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	54	55	合計	53,893 円	
	財源	特定財源	0	0	16	18	需用費	53,893 円	
		一般財源	0	0	38	37			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	54	55			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		特別支援学校教育推進事業費負担金			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	4	2					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	教育内容の充実							
	目的	授業等で使う教材を購入し、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。				主たる内容	○生徒用一般教材の購入費 ○教師指導用教材の購入費 ○学校新聞等の印刷製本費			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	特別支援学校の児童・生徒及び教員				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
				児童・生徒用一般教材を購入した。		児童・生徒用一般教材を購入する。				
成果		児童・生徒用一般教材の購入を円滑に進めることで、保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図ることができた。								
課題		教育活動の充実を図ることを目的としているが、必要、必要でない教材をしっかりと精査し購入する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,762	1,143	合計	1,762,160 円		
	財源	特定財源	0	0	685	397	需用費	781,416 円		
		一般財源	0	0	1,077	746	備品購入費	980,744 円		
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①+②）		0	0	1,762	1,143				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		特別支援学校教育推進事業費負担金				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			小学校管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	2	1						施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の円滑な維持管理を行うため、施設整備の保全に努め、児童の安心安全な学習環境の向上を図る。	主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料 ○土地借上料						
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 ・高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 ・高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		
成果		円滑に学校を維持管理できたほか、光熱水費の節約に努めることができた。								
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また樹木の剪定は、要望が多く経費の増額が望まれる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		152,975	161,495	147,911	184,565	合計	147,911,388 円		
	財源	特定財源	1,232	3,560	3,852	4,652	需用費	87,941,106 円		
		一般財源	151,743	157,935	144,059	179,913	役務費	10,195,047 円		
	職員人件費 ②		1,954	2,132	2,893	1,935	委託料	39,636,252 円		
	総事業費（①+②）		154,929	163,627	150,804	186,500	使用料及び賃借料	10,138,983 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 資源売却収入						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			校舎等補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	小学校の校舎・体育館等の破損や痛みが激しい箇所の補修を行う。		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の校舎、体育館等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		プールろ過装置・防水膜等の修繕を行った。【住吉・富士松南・朝日・日高・平成・東刈谷小学校】 防球ネット・フェンスの修繕を行った。【亀城・日高・富士松南小学校】		プールろ過装置の修繕を行った。【日高・小垣江東・かりがね・富士松東小学校】 渡り廊下防水修繕を行った。【富士松南小学校】 体育館の通風口の修繕を行った。【日高・平成・東刈谷・双葉小学校】		プールろ過装置の修繕を行った。【小高原・平成・小垣江小学校】 校舎の防水修繕を行った。【富士松南・東刈谷小学校】 体育遊具の修繕を行った。【小高原・住吉・富士松東・東刈谷・朝日小学校】		プールろ過装置の修繕を行う。【かりがね・富士松東小学校】 プールの防水膜修繕を行う。【亀城・朝日小学校】 アスファルト舗装の修繕を行う。【富士松北・朝日小学校】	
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,022	7,990	7,980	11,800	合計	7,980,228 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,980,228 円	
		一般財源	6,022	7,990	7,980	11,800			
	職員人件費 ②		703	853	1,543	1,316			
	総事業費（①+②）		6,725	8,843	9,523	13,116			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		屋外施設整備事業				担当部	教育部			
一般会計						担当課	教育総務課			
款	項					目	担当係	施設係		
10	2					1				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。		主たる内容	小学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により、破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。					
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
校内側溝改修を行った。【かりがね小学校】 外灯の設置を行った。【富士松北小学校】 砂場改修を行った。【朝日小学校】 倉庫の更新を行った。【平成・東刈谷小学校】		グラウンド改修及び雨水貯留施設設置を行った。【富士松東小学校】 倉庫の更新を行った。【小垣江東・東刈谷小学校】		駐車場の改修を行った。【東刈谷小学校】 倉庫の更新を行った。【亀城・富士松南・小垣江・朝日小学校】 外灯の設置を行った。【小垣江・双葉・東刈谷小学校】		校内の舗装改修を行う。【かりがね小学校】 倉庫の更新を行う。【小高原・富士松東・小垣江・東刈谷小学校】				
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めることができた。								
課題		屋外施設については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	指標									
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		13,923	72,128	20,275	3,800	合計	20,274,840 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,814,400 円		
		一般財源	13,923	72,128	20,275	3,800	工事請負費	18,460,440 円		
	職員人件費 ②		703	620	995	1,548				
	総事業費（①+②）		14,626	72,748	21,270	5,348				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			緑化推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校における苗木等の植樹や補植といった緑化推進を図り、「自然への慈しみ」がもてるような教育環境をつくる。	主たる内容	小学校へ苗木等の購入を行う。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		苗木等の購入、植栽を行った。【小垣江小学校】		苗木等の購入、植栽を行った。【かりがね・富士松南小学校】		苗木等の購入、植栽を行った。【小垣江小学校】		苗木等の購入、植栽を行う。		
成果		様々な木々等を植えることができ、緑化の推進に一定の成果があった。								
課題		植樹後の剪定等の樹木管理を考慮した苗木等の購入を行う。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		243	246	243	250	合計	243,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	243,000 円		
		一般財源	243	246	243	250				
	職員人件費 ②		234	31	123	0				
	総事業費（①+②）		477	277	366	250				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。	主たる内容	老朽化により破損や痛みが激しい小学校の設備の改修を行う。						
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		防火設備の改修を行った。【平成・東刈谷小学校】 体育館スピーカーの改修を行った。【日高・朝日小学校】 体育館の照明及びエレベーターの改修を行った。【平成小学校】		屋外放送設備、火災報知設備、浄化増メインブロワ及びエレベーターの改修を行った。【富士松東小学校】 体育館の放送設備改修を行った。【富士松北小学校】 校舎の便所改修を行った。【平成・小垣江小学校】		校舎の便所改修を行った。【かりがね小学校】 体育館の照明の改修を行った。【亀城・東刈谷・富士松北小学校】 ウォータークーラーの設置を行った。【小学校全校】		校舎の便所改修を行う。【亀城小学校】 体育館の照明の改修を行う。【日高・富士松東・双葉小学校】 運動場の放送設備改修を行う。【住吉小学校】		
成果		学校設備の取替が必要なものは順次更新を行った。								
課題		設備関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった時に必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	指標									
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		41,566	234,537	172,125	109,880	合計	172,124,680 円		
	財源	特定財源	0	193,618	120,829	16,525	委託料	2,920,930 円		
		一般財源	41,566	40,919	51,296	93,355	工事請負費	166,516,950 円		
	職員人件費 ②		1,407	1,008	1,620	1,548	負担金、補助及び交付金	2,686,800 円		
	総事業費（①+②）		42,973	235,545	173,745	111,428				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金(国)繰越金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名		設備等補修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。		主たる内容	小学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】ガス調整器等の交換を行った。【小垣江・双葉小学校】防火シャッターの修繕を行った。【富士松南・富士松東小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】排水施設詰り修繕を行った。【小高原・日高・衣浦・平成・朝日小学校】体育館舞台装置の修繕を行った。【衣浦・かりがね・富士松北・小垣江東小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】体育館の緞帳等の修繕を行った。【朝日小学校】体育館舞台装置の修繕を行った。【亀城・日高・住吉・富士松南・富士松東小学校】水石鯀入れ取替を行った。【朝日小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行う。【全小学校】体育館の舞台装置の修繕を行う。【小高原・日高・住吉・小垣江東・平成・朝日小学校】	
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,862	8,019	9,484	7,000	合計	9,484,128 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,484,128 円	
		一般財源	6,862	8,019	9,484	7,000			
	職員人件費 ②		782	853	1,543	1,316			
	総事業費（①+②）		7,644	8,872	11,027	8,316			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、児童への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用及び更新機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検	
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運用を適正に行うことで、児童の授業の理解度を高め、情報活用能力の育成を図ることができた。							
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		43,942	64,698	63,261	63,692	合計	63,261,331円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,530,319円	
		一般財源	43,942	64,698	63,261	63,692	委託料	9,720,000円	
	職員人件費②		313	349	347	0	使用料及び賃借料	49,011,012円	
	総事業費（①+②）		44,255	65,047	63,608	63,692			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行い、パソコンやグループウェアの活用による教育指導の向上を図る。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成12年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用 校内LAN機器の更新		指導用パソコンの運用及び更新 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用	
成果		指導用パソコンの管理運用を適正に行うことで、教育指導の向上及び事務の効率化、高度化を図ることができた。							
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （決算）	31年度 （予算）	30年度 事業費内訳	
	事業費 ①		71,238	67,907	68,618	69,513	合計	68,617,750 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,645,982 円	
		一般財源	71,238	67,907	68,618	69,513	役務費	3,112,830 円	
	職員人件費 ②		313	349	347	0	委託料	12,933,786 円	
	総事業費（①+②）		71,551	68,256	68,965	69,513	使用料及び賃借料	49,925,152 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		中学校管理事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	3					1		施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の円滑な維持管理を行うため、施設整備の保全に努め、生徒の安心安全な学習環境の向上を図る。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 ・高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		・光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 ・高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施	
成果		円滑に学校を維持管理できたほか、光熱水費の節約に努めることができた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また樹木の剪定は、要望が多く経費の増額が望まれる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		82,995	85,362	84,989	111,715	合計	84,988,956 円	
	財源	特定財源	1,060	944	913	848	需用費	54,768,647 円	
		一般財源	81,935	84,418	84,076	110,867	役務費	4,776,936 円	
	職員人件費 ②		1,719	2,132	1,736	1,393	委託料	22,078,595 円	
	総事業費（①+②）		84,714	87,494	86,725	113,108	使用料及び賃借料	3,364,778 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 学校屋外照明施設利用実費徴収金					
2年度以降の事業費見込		0		資源売却収入					

会計名		校舎等改修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	各中学校の老朽化した校舎・体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。		主たる内容	中学校の校舎・体育館等を改修する。				
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
体育館床の修繕を行った。 【刈谷南中学校】 柔剣道場梁の補修を行った。 【朝日中学校】 北舎の外壁改修を行った。 【雁が音中学校】		—		プールろ過装置の改修を行った。 【刈谷南中学校、富士松中学校】		体育館の外壁・屋上防水改修を行う。 【刈谷南中学校】 校舎の外壁改修を行う。 【朝日中学校】			
成果		各中学校の校舎等を計画的に改修することができた。							
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である40年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		48,536	0	4,510	104,639	合計	4,510,296 円	
	財源	特定財源	1,215	0	0	9,926	工事請負費	4,510,296 円	
		一般財源	47,321	0	4,510	94,713			
	職員人件費 ②		860	0	926	1,161			
	総事業費（①+②）		49,396	0	5,436	105,800			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金(国)			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			校舎等補修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	3	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の校舎等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎等の破損や傷みが激しい箇所の補修を行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		グラウンド雨水排水・乗入部分修繕を行った。【刈谷南中学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【雁が音・依佐美中学校】 プール温水シャワー用給湯器修繕を行った。【朝日中学校】		プールの防水膜の修繕を行った。【刈谷東・朝日中学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【刈谷東・富士松中学校】 体育館屋根の漏水修繕を行った。【依佐美中学校】		体育館のバスケットゴールの修繕を行った。【刈谷南中学校】 通路屋根の修繕を行った。【刈谷東、依佐美中学校】		プールの防水膜の修繕を行う。【依佐美・朝日中学校】 廊下床の修繕を行う。【朝日中学校】 通路屋根の修繕を行う。【依佐美中学校】		
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。								
課題		学校によって校舎の傷み具合が違い学校ごとの課題も出てくる。各学校の現状をしっかりと把握しなければいけない。								
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	指標									
	指標									
	他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,162	7,911	7,963	8,000	合計	7,962,840 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,962,840 円		
		一般財源	5,162	7,911	7,963	8,000				
	職員人件費 ②		391	853	926	774				
	総事業費（①+②）		5,553	8,764	8,889	8,774				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		消防設備の修繕を行った。【全中学校】 ガス漏れ警報器等の交換を行った。【刈谷東・富士松中学校】 体育館の舞台装置の修繕を行った。【刈谷南・雁が音中学校】		消防設備の修繕を行った。【刈谷南・刈谷東・富士松・朝日中学校】 プールの排水詰り修繕を行った。【刈谷南中学校】 雨水配管の修繕を行った。【雁が音中学校】 体育館の舞台装置修繕を行った。【刈谷東・依佐美・朝日中学校】		消防設備の修繕を行った。【全中学校】 理科室の実験台の天板修繕を行った。【雁が音中学校】 体育館の舞台装置修繕を行った。【刈谷東・依佐美・朝日中学校】		消防設備の修繕を行う。【全中学校】 ガスメーターの取替を行う。【富士松中学校】 雨水配管の修繕を行う。【雁が音中学校】 体育館の舞台装置の修繕を行う。【全中学校】	
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行えた。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	他市との比較検証								
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,991	9,118	4,819	5,000	合計	4,818,798 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,818,798 円	
		一般財源	5,991	9,118	4,819	5,000			
	職員人件費 ②		469	853	926	774			
	総事業費（①+②）		6,460	9,971	5,745	5,774			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、生徒への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用及び更新機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運用を適正に行うことで、生徒の授業の理解度を高め、情報活用能力の育成を図ることができた。								
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		29,341	35,471	27,690	28,131	合計	27,689,711 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,197,299 円		
		一般財源	29,341	35,471	27,690	28,131	委託料	3,888,000 円		
	職員人件費 ②		313	349	424	0	使用料及び賃借料	19,604,412 円		
	総事業費（①+②）		29,654	35,820	28,114	28,131				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行い、パソコンやグループウェアの活用による教育指導の向上を図る。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	平成13年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用 校内LAN機器の更新 デジタル教科書の購入		指導用パソコンの運用及び更新 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用		
成果		指導用パソコンの管理運用を適正に行うことで、教育指導の向上及び事務の効率化、高度化を図ることができた。								
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		45,273	35,376	33,483	32,119	合計	33,482,887円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,610,082円		
		一般財源	45,273	35,376	33,483	32,119	役務費	1,339,902円		
	職員人件費②		313	349	347	0	委託料	5,173,514円		
	総事業費（①+②）		45,586	35,725	33,830	32,119	使用料及び賃借料	25,359,389円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。	主たる内容	中学校の老朽化により破損や傷みが激しい設備の改修を行う。					
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		職員室空調設備改修及び非常放送設備の更新を行った。【依佐美中学校】多目的室に除湿機を設置した。【朝日中学校】		体育館の女子便所改修を行った。【刈谷南中学校】剣道場に除湿機を設置した。【朝日中学校】体育館にウォータークーラーを設置した。【全中学校】		プールの排水管改修を行った。【刈谷南中学校】下水道への接続を行った。【朝日中学校】体育館の照明改修を行った。【刈谷東・朝日中学校】エレベーターの改修を行った。【雁が音中学校】		体育館の照明改修を行う。【刈谷南・富士松中学校】北舎・南舎の便所改修を行う。【朝日中学校】	
成果		各中学校の設備等を計画的に改修することができた。							
課題		設備改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしている部分もあるが、大規模改造事業の目安である40年が経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり、個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状を把握することが重要となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		12,906	10,682	70,997	171,640	合計	70,996,544 円	
	財源	特定財源	0	0	0	31,196	委託料	7,123,070 円	
		一般財源	12,906	10,682	70,997	140,444	工事請負費	60,769,374 円	
	職員人件費 ②		782	1,008	926	1,006	負担金、補助及び交付金	3,104,100 円	
	総事業費（①+②）		13,688	11,690	71,923	172,646			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		校舎等改修事業				担当部	教育部	
一般会計						担当課	教育総務課	
款	項					目	担当係	施設係
10	2	1						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	学校教育					
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実					
	目的	小学校の老朽化した校舎、体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。		主たる内容	小学校の校舎・体育館等を改修する。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		体育館等の床修繕を行った。【衣浦・かりがね・小垣江東・双葉・朝日小学校】 体育館に網戸を設置した。【亀城・小高原・日高・住吉・かりがね小学校】		体育館のトイレブース及びプール薬品庫引戸の修繕を行った。【日高小学校】 配膳室折戸の修繕を行った。【平成小学校】 体育館にバスケットゴールを設置した。【富士松南小学校】		プールろ過装置の改修を行った。【亀城・衣浦・平成・富士松北小学校】 校舎の外壁改修を行った。【住吉・かりがね小学校】		体育館の外壁改修を行う。【亀城・衣浦・平成小学校】 校舎の外壁改修を行う。【平成・富士松南・朝日小学校】 体育館及び校舎の屋上防水改修を行う。【東刈谷小学校】
成果		老朽化した校舎等の機能回復をすることができた。						
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である40年が経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に改修を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳
	事業費 ①		31,455	52,957	123,098	253,087	合計	123,097,536 円
	財源	特定財源	0	11,412	80,090	35,206	工事請負費	123,097,536 円
		一般財源	31,455	41,545	43,008	217,881		
	職員人件費 ②		1,329	1,008	1,543	2,090		
	総事業費（①+②）		32,784	53,965	124,641	255,177		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
		30年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金(国)繰越金		
2年度以降の事業費見込		0						

会計名		屋外施設整備事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係		
10	3					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	中学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。 中学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により、破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的								
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		通路改修及びテニスコート防球ネット改修を行った。 【雁が音中学校】 グラウンド改修を行った。 【朝日中学校】 倉庫の更新を行った。【刈谷南・雁が音・依佐美中学校】		倉庫の更新を行った。【雁が音・依佐美・朝日中学校】		フェンスの設置を行った。【刈谷南中学校】 テニスコートの防球ネット改修を行った。【依佐美中学校】 倉庫の更新を行った。【刈谷南・刈谷東・朝日中学校】		プールのフェンス改修を行う。【雁が音中学校】 倉庫の更新を行う。【刈谷東・雁が音中学校】	
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めることができた。							
課題		屋外施設関係については、大規模改修事業のような改修を行う計画を策定していないため、必要なときに必要な箇所を個々に対応している。そのため、学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		39,907	2,192	12,460	7,200	合計	12,459,960 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	12,459,960 円	
		一般財源	39,907	2,192	12,460	7,200			
	職員人件費 ②		0	0	617	929			
	総事業費（①+②）		39,907	2,192	13,077	8,129			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ICT教育事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	各教科の授業の中で電子黒板を利用することにより、「わかる授業」や「魅力のある授業」の実現に役立てる。	主たる内容	○電子黒板の保守管理委託料 ○賃借料（電子黒板）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		電子黒板の運用		電子黒板の運用		電子黒板の運用		電子黒板の運用	
成果		電子黒板の導入により、デジタル教科書の更なる有効活用が図れ、児童の学習意欲や学力、情報活用能力の向上につながった。							
課題		電子黒板の増設の要望が多く、今後検討が必要。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		電子黒板設置台数（台）			—	—	—	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,160	4,160	4,160	4,166	合計	4,160,160 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	486,000 円	
		一般財源	4,160	4,160	4,160	4,166	使用料及び賃借料	3,674,160 円	
	職員人件費 ②		234	271	502	0			
	総事業費（①+②）		4,394	4,431	4,662	4,166			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			特別支援学校管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	4	1					担当係	総務係	
								施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	特別支援学校の円滑な維持管理を行うため、施設整備の保全に努め、児童生徒の安心安全な学習環境の向上を図る。		主たる内容	○光熱水費（電気・ガス・水道） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○委託料（清掃・設備保守管理・樹木管理） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	特別支援学校の児童・生徒及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施	
成果		特別支援学校の円滑な管理運営が図れた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	10,818	13,637	合計	10,817,727 円	
	財源	特定財源	0	0	4,978	4,733	需用費	4,234,014 円	
		一般財源	0	0	5,840	8,904	役務費	538,174 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0	委託料	5,419,139 円	
	総事業費（①+②）		0	0	10,818	13,637	使用料及び賃借料	626,400 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		特別支援学校教育推進事業費負担金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	4	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	指導用・管理用のパソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。	主たる内容	○消耗品費 ○環境設定委託料 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○パソコン、周辺機器等の借上料					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	特別支援学校の児童・生徒及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						指導用パソコンの運用		指導用パソコンの運用	
成果		指導用パソコンの管理運用を適正に行うことで、教育指導の向上及び事務の効率化、高度化を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	4,275	4,041	合計	4,275,084 円	
	財源	特定財源	0	0	1,356	1,402	需用費	99,941 円	
		一般財源	0	0	2,919	2,639	委託料	1,186,684 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0	使用料及び賃借料	2,988,459 円	
	総事業費（①+②）		0	0	4,275	4,041			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		特別支援学校教育推進事業費負担金			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			屋外施設整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	4	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	寄附金による記念碑の設置				主たる内容	補正内容 刈谷特別支援学校の中庭に記念碑を設置する。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	刈谷特別支援学生及び職員			事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
				中庭に記念碑を設置した。						
成果		学校と調整しながら設置工事を完了することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		工事進捗率（％）					100			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,000	0	合計	1,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,000,000 円		
		一般財源	0	0	1,000	0				
	職員人件費 ②		0	0	8	0				
	総事業費（①+②）		0	0	1,008	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			第一学校給食センター建設事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	7	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校給食の充実							
	目的	老朽化した第一学校給食センターを建て替え、給食に求められる安全な調理環境を維持・向上させるとともに、特別支援学校に通う子どもたちの状況に合わせた給食を調理する体制を整備する。		主たる内容	第一学校給食センター（神田町二丁目地内、昭和56年建設）を小垣江東小学校の敷地内（小垣江町白沢地内）に移転新築するとともに、旧第一学校給食センターの解体を行う。 ○給食センター 構造：鉄骨造2階建て 規模：延床面積4,262㎡ ○渡り廊下 構造：鉄骨造2階建て 規模：延床面積95㎡					
	位置づけ	関連計画								
	根拠法令									
	対象者	市内小中学生及び教員		事業期間	平成26年度～平成30年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・第一学校給食センターの建設工事を行った。		・第一学校給食センターの建設工事を行った。 （平成29年9月稼働開始） ・旧第一学校給食センターの解体工事を行った。		・旧第一学校給食センター跡地の土壌汚染等の調査を行い、解体工事を完了した。		_____		
成果		小垣江東小学校の敷地内に併設する特別支援学校の建設と調整しながら、第一給食センターの建設工事を進めることができた。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		建設工事進捗率（％）		21.0	100.0	—	—	—		
活動指標		解体工事進捗率（％）		—	90.0	100.0	100.0			
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		404,314	2,165,752	147,796	0	合計	147,795,840円		
	財源	特定財源	404,314	2,165,667	147,796	0	工事請負費	147,795,840円		
		一般財源	0	85	0	0				
	職員人件費②		3,048	2,326	0	0				
	総事業費（①+②）		407,362	2,168,078	147,796	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		繰越金						
2年度以降の事業費見込		0								